

後北条氏による関東の覇権の確立

千葉氏と協力していた後北条氏は、1569年（永禄12年）、岩付城（埼玉県）大田氏、5年後の1574年（天正2年）関宿城（千葉県）の築田氏など関東の有力な豪族をたがえることに成功しました。房総においては、千葉氏などの諸将は、里見氏に対抗するため後北条氏と接近し、次第にその勢力下におかれるようになります。こうして後北条氏は、16世紀の後半には東関東一帯の支配権を確かなものとししました。

